

# うるま市 社協だより

—支え合いのまちづくり—

第8号



「みんなが主役！舞台いっぱい演技を披露」



うるみん健康・福祉まつりの変身ウエディング&タキシード体験より



この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金  
で作成されています。

発行

社会福祉法人 うるま市社会福祉協議会

〒904-2214 うるま市字安慶名488番地

TEL 098-973-5459 FAX098-974-5306



# うるまみんな健康・

# 福祉まつり特集

12月10日に開催された第4回うるまみんな健康・福祉まつりは健康・福祉センターうるまみんなを会場に、健康福祉まつり実行委員会、うるま市、うるま市社会福祉協議会が共催し、市内の福祉関係事業所や福祉団体等が参加して実施され多くの市民が来場しました。

- ★ステージコーナー、障がい関係事業所等の販売コーナー、児童館、福祉団体、民生委員協議会等の活動パネル展示、様々な体験コーナーと多彩な内容で実施されました。
- ★健康や福祉について考える
- ★健康でお互いに助け合える地域福祉のまちづくりを推進する
- ★福祉団体等の相互理解を深める機会となっています。



フードドライブでは、食糧品の提供を呼びかけました。

児童館の子供達は元気に空手演舞



うるまストーンをさがせ！「各コーナーで体験したりクイズに答えてゴールをめざすぞ〜。」目印はクーバーのお画。



社協が実施している活動や福祉団体、ボランティア団体の活動のパネル展示。



作品についてうまく説明できたかな？



小物づくりで作る楽しさ体験



第1民児協はもすく天ぷらを販売し、赤い羽根共同募金へ寄付。地域の商店や勝連漁協から材料提供の協力がありました。



ハンドマッサージ！専門学校の協力で実現♪ 体のケアも大事♪



地域ミニデイサービスで提供しているおやつを試食コーナーはボランティア手作りの美味しさが大好評！



事業所で作っている作品や食品を販売し活動をアピール。



# こんにちは CSWです!



社協では、住民が地域で安心して暮らしていくために、「コミュニティソーシャルワーカー(CSW)」を本所・支所に配置しています。

## 「コミュニティソーシャルワーカー」とは

地域で生活する人々のその人らしい生活を支えていくために、活用できる様々な制度だけでなく、近隣の見守りや助け合いなどの地域の力も活用しながら支援していきます。

## 相談への対応

健康や福祉など住民の抱える様々な生活課題や相談に対して必要な支援を一緒に考えます。

各専門機関、行政、民生委員・児童委員、自治会長などとの連絡調整及びネットワークづくりを行います。

## 住民ニーズの把握

相談、情報交換などから地域にある生活課題、ニーズを把握し、解決に向けて地域で体制づくりを支援します。

## 出前講座

### 「小地域ネットワーク(近隣見守り援助体制)」NPO

地域での隣近所の支え合いづくりとして身近な地域で出前講座を実施しています。

出前講座終了後の取り組みとして、見守りグループの立ち上げ、地域活性化、防災活動など様々な活動を地域が主体となり展開しています。

## 地域活動をご紹介します

### ◆新赤道見守り隊のクリスマス訪問

見守り隊の活動の紹介を兼ねて、一人暮らしの高齢者などにも楽しいクリスマスを通してもらうために、プレゼントをお届けし、お礼に皆さんからの言葉と笑顔のプレゼントを頂いてきました。



## ◆旭区福祉ネットワークの交流訪問(花鉢の宅配)

### 「世代間交流」と「地域のネットワークづくり」を目的に、子ども会や老人会、各種団体が協力しながら

植付けした花鉢を毎年12月のクリスマスの際に、子ども達と一緒に高齢者や障がい者、地域のグループホームへお届けし、心の交流を図っています。今回も子ども達のプレゼントに皆さんにこやかな笑顔を見せてくれました。



## ◆内間見守り隊ちむぐるの手作り救急医療情報キット

### 高齢者等の緊急時の備えとして、疾患名、内服薬、家族の連絡先等の情報を筒状の容器に入れ、冷蔵庫に保管しておく救急医療情報キットを

手作りしました。冷蔵庫はほとんどの家庭において台所において、救急隊もすばやく情報を得ることで迅速な対応ができます。現在、「内間見守り隊ちむぐる」で情報の聞き取りと設置に取り組んでいます。

## 与那城西原区ゆんたく会

「家で一人でいるより、みんなとゆんたくしながら集まりたいよね」と言う声をきっかけにサロンがスタートしました。毎週木曜日14時から与那城西原公民館にて、手工芸など参加者の趣味と一緒に楽しみながら、ゆんたくをしています。

参加者からは、「ここに来ると仲間が居るから安心できるさ」と笑顔いっぱいのお話を聞かせています。



### 東日本大震災 被災地でのボランティア活動報告 〜 広げよう 支援の輪 〜

「いてもたってもいられない。現地へ行きたい。」

三月のあの日からずっと思い続け、先日、岩手県のボランティアセンター主催の活動に参加することができました。

私が行った活動は「写真洗浄」「水産会社の泥にまみれた網の洗浄」「大型スーパーの営業再開に向けての荷物搬入」「炊き出しの手伝い」でした。その他にも、仮設住宅集会所での話し相手、位牌の整理、避難経路の整備、泥出し等、多種多様な活動がありました。被災地が抱える問題や、必要な支援も時間の経過とともに変化しているようです。

現地で私が見たものは、破壊された防波堤、建物、町々でした。めちゃくちゃ

になった校舎。教室の黒板には被災後書かれた子ども達のメッセージ



ジ。九カ月経つが、暗い体育館に未だ残る卒業式の壁面。何も無くなつた町を寂しそうに歩く人の姿でした。一方で、小さなプレハブ小屋で床屋を営むおじさん、ビニールハウス造りの復興食堂で働く人々、再開に向け工事を急ぐ大型スーパーの従業員・工事の人々、遺骨を大事に預かり町を見守る住職さん、ボランティアへお礼を言ってお下さる方々や子ども達の笑顔がありました。

沖繩に戻った私は、少しでも役に立てたのか？と振り返り、これから私のできる支援のスタートだと気づきました。私の心に「忘れられていくことが辛い。」と言った被災された方の言葉が残っています。その言葉を聞いて、私が見た被災地の現状を広く伝えることも大事だと強く思いました。

震災の報道が減る中で、本格的な冬を迎える現地の状況は一層厳しくなると思われまます。まだまだボランティアの協力

が必要ですが、被災された方々を思い震災を風化させないこと、無理をせず小さくても長期的な支援を行うなど、私達が沖繩からできることで支援の輪を広げていきませんか。

記事提供：森根竜也（うるま市） H23年12月



### 「ボランティア・スピリット賞受賞！」

ボランティアサークル「マンブーズ」代表の具志川高校3年生 上地高司さんと竹慎一郎さんが11月13日に熊本県のホテル日航熊本にてボランティア・スピリット・アワード第15回コミュニティ賞を受賞しました。



二人は高校1年生の時から、NPO法人マンガローブEクラブ（代表 平川節子）が主催し、うるま市州崎にて年6回行われるマンガローブの観察会&清掃活動の運営スタッフとして積極的に活動へ参加する他、事前に行われるスタッフ会議等やリーダーとしての活動の成果が認められ今回の受賞となりました。今後もボランティア活動を積極的に行っていきたいと意欲に燃えています。

※「ボランティア・スピリット・アワード」とは米国最大級の金融サービス機関プルデンシャル・ファイナンシャルが95年からアメリカにて開始した青少年を対象としたボランティアを支援する制度です。

### 「傾聴〜気持ちに耳を傾ける〜講座」

平成23年11月29日と12月2日の2日間、健康福祉センターうるまに於いて沖繩大学人文学部准教授 西尾敦史氏を講師に迎え、傾聴講座を開催しました。30名の定員に対し43名もの応募があり、市民の傾聴についての関心の高さを実感しました。

講義とコミュニケーションワークショップの実践を交えての講座で3時間があつという間に過ぎて時間を忘れるくらいでした。地域で見守り活動やボランティア活動をしている皆さんは、活動の中で活かしている様です。



### 「傾聴ボランティア体験」

傾聴講座終了後の12月13日（火）に、地域生活支援センターあいあいにおいて、5名の方が傾聴ボランティア体験を行いました。

傾聴をする方も話す方も始めての体験で、グループトークで自己紹介や趣味などの会話をするなかで和やかな雰囲気を作られ、徐々に会話が弾んでいったようです。

機会があれば今後も傾聴活動を続けていきたいとの声に参加した皆さんからありました。



## 民生委員・児童委員を知っていますか？

地域における

相談・支援のボランティア

### 〈民生委員・児童委員とは〉

民生委員は民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱され、地域における様々な問題について相談支援活動を行なっています。民生委員は児童福祉法により児童委員も兼ねていて「民生委員・児童委員」と呼ばれ各地域で一定の区域を担当して地域活動を行なっています。また一部の児童委員は児童に関する事を専門的に担当する「主任児童委員」の指名を受けており、任期は三年です。

### 〈活動の目的〉

地域住民から社会福祉等に関する相談に応じ、住民ひとりひとりが尊厳をもってその人らしい自立した生活ができるよう支援を行ない、誰もが安心して暮らすことができる明るい地域社会づくりを目指しています。

### 〈七つのはたらき〉

①生活の実態や福祉ニーズの把握に努めます。そのため担当地域内の家庭を訪問ことがあります。

- ②生活上の様々な相談に応じます。
- ③介護や福祉の制度・サービスの情報提供をします。
- ④関係機関との間に立つ役割をはたします。

⑤必要なサービスが受けられるよう調整・支援します。

⑥快適な生活ができるように生活支援活動をします。

⑦生活上の問題点や改善策について関係機関に意見を提起します。

### 〈秘密は守られます〉

民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談内容はほかに漏れることはなく、住民一人ひとりの人権とプライバシーを尊重し、秘密を保持します。



問合せ先 本所・各支所まで



## 生活福祉資金貸付制度のご案内

「生活福祉資金貸付制度」は低所得者世帯、高齢者世帯、又は障がい者世帯に対し資金の貸付と必要な相談支援により、経済的自立や生活意欲の助長、在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活が送れるよう支援する事を目的とした貸付制度です。

本貸付制度は沖縄県社会福祉協議会を実施主体として、県内の市町村社会福祉協議会が窓口となっています。

### 【制度の特徴・基本事項】

- ・原則として連帯保証人が必要です。
- ・他の貸付制度の活用が優先となります。
- ・民生委員が援助活動を行います。
- ※貸付種類により貸付限度額、条件が異なります。
- ※その他の基本事項の詳しい内容はお問合せ下さい。

### 【借入申込の流れ】

- ①相談・借入申込（申請書類等の提出）
- ②貸付の審査（県社会福祉協議会で行われる）
- ③借用書の作成
- ④貸付金交付

貸付対象	低所得者世帯	障がい者世帯	高齢者世帯		
	貸付を利用する事により課題改善が認められる世帯であって必要な資金を他から借り受ける事が困難な世帯。	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた者の属する世帯。	65歳以上の高齢者の属する世帯。		
貸付種類	総合支援資金	福祉資金	教育支援資金	不動産担保型生活資金	臨時特例つなぎ資金
	・生活支援費 ・住宅入居費 ・一時生活再建費	・福祉費 ・緊急小口資金	・教育支援費 ・就学支度費	・不動産担保型生活資金 ・要保護世帯向け不動産担保型生活資金	

※貸付審査は沖縄県社会福祉協議会で行われます。決定までは、申請後概ね1ヵ月程度の日数が必要となります。



### 相談・申込み

現在お住まいの地区の民生委員又はうるま市社会福祉協議会にご相談下さい。  
うるま市社会福祉協議会 本所・支所の連絡先はP7に記載されています。

## うるま市老人クラブ連合会

うるま市老人クラブ連合会には様々な趣味クラブがあり、多くの会員の皆さんが趣味を通して仲間づくりと健康づくりを目的に楽しく活動しています。あなたも参加してみませんか？

囲碁・書道・絵画・手芸・写真・陶芸・園芸・三線・大正琴・舞踊・民踊  
社交ダンス・カラオケ・ボウリング・ゲートボール・グラウンドゴルフ・ゴルフ

☆趣味クラブへの参加は老人クラブへの入会が必要です。

☆入会受付は随時行なっております。(見学也大歓迎)

☆年会費は各支部によって異なりますが、1,000円～2,000円程度です。



お問い合わせ	うるま市老人クラブ連合会	} ……973-4066
	うるま市老連具志川支部	
	うるま市老連石川支部	……964-2494
	うるま市老連勝連支部	……978-5914
	うるま市老連与那城支部	……978-0011

社会福祉協議会は福祉団体の  
自主的な活動を支援しています。

## 在宅介護者の会

自宅で高齢者を介護している家族が、介護の悩みや問題について共に語り合い、会員相互に支え合うことを目的に、ゆんたく会、研修会、ボウリング大会、映写会、ピクニックなどの楽しい行事を行なっています。

どうぞ気軽にご参加ください。お待ちしております。



～お問い合わせ～

「うるま市具志川在宅介護者ふれあいの会」  
〒904-2214 うるま市字安慶名488  
うるま市健康福祉センターうるみん2階  
TEL 098-973-5459 FAX 098-974-5306

「うるま市石川在宅介護者ひまわりの会」  
〒904-1115 うるま市石川伊波287-4  
TEL 098-964-2494 FAX 098-964-4747

## うるま市母子寡婦福祉会

平成17年結成以来、年間行事として定例会、総会及び小学校新1年生の激励会、親子ふれあいビーチパーティー(ピクニック)、運動会、支部活動(ボウリング大会、手作り体験)、会員の加入促進、介護福祉養成講習会、パソコン教室、雇用促進などへの各種助成、社会福祉協議会と共催のこころワクワク体験(夏休宿題のお手伝い)を行っています。今後も母子寡婦福祉制度の周知や広く情報を提供し、県母連やその他関係機関との連携を進めていきたいと思っております。

～お問い合わせ～

〒904-2214  
うるま市字安慶名488  
うるま市健康福祉センターうるみん2階  
TEL 098-974-9378 FAX 098-974-9378



## うるま市身体障がい者協会

うるま市身体障がい者協会は結成6年目を迎えます。去年6月に役員の入替わりがあり、ほとんどが新規の役員で、なれない行事を協力して頑張っています。5月の定期総会、6月のうるま市障がい者スポーツ大会、沖縄県身体障害者グラウンドゴルフ大会への参加、7月の手作り教室、カラオケ大会、8月のスポーツ教室、うるま市視覚障がい者チャレンジパソコン教室、芸術・文化講座等の開催、9月の沖縄県身体障害者スポーツ大会への参加、10月の役員研修、11月の社会見学、沖縄県身体障害者福祉展・福祉大会への参加、12月のうるみんまつりへの参加、ゲートボール教室、ボウリング教室などを行なっています。うるま市の社会参加促進事業のひとつでもある重度身体障害者移動支援事業として、リフト付車両の貸出しも行なっています。障害のある方が一人でも多く社会に出て、生きがいのある生活が出来ますよう、うるま市身体障がい者協会も全役員、会員一同協力して頑張りたいと思っております。会員をはじめ各団体機関の皆様ご協力お願い致します。

～お問い合わせ～

〒904-2214 うるま市字安慶名488うるま市健康福祉センターうるみん2階  
TEL 098-987-7790





# 地域生活支援センター=あいあい

～病気や障がい等、生活のしづらさを抱える皆さんの「私らしく活きたい」を応援します！！～

地域生活支援センターあいあいは、地域の中で生活されている障がいを抱えた方々の社会参加と自立に必要なお手伝いを行い、障がいの有無に関わらず、「安心して暮らせるまちづくり」を通して一人一人を応援します。

## 生活相談

障害年金、生活保護、日頃の生活や人間関係、生活上の困りごと等相談に応じます。

## 地域交流活動

スポーツ・ボランティア・イベントなどを通して地域の方たちへの正しい理解を深める活動です。

## グループ活動

いっちゃん会・三味線クラブ・カラオケサークル・わいわい昼食会等自主グループで思い思いの活動をしています。

## 憩いの場

気の合う仲間と楽しくおしゃべりしながら、情報交換をしたり、パソコンを習ったり、皆でスポーツをしたり、安心して過ごせる場所を提供しています。



ボランティア事業



運動会

## ～利用のご案内～

開所時間 月曜日～金曜日（土日・祝祭日除く） 午前8:30～午後5:00

☎(098) 979-0555 (うるみん2F) 詳細はお気軽にお問合せください

## ◆◆◆うるま市社会福祉協議会マップ◆◆◆

ふれあいのまちづくり事業/ふれあい相談所 無料  
心配ごとや生活問題 etc. どなたでも利用できます。



うるま市社会福祉協議会  
本 所 (☎974-5341)  
石川支所 (☎964-5963)  
勝連支所 (☎978-5914)  
与那城支所 (☎978-0011)

- 一般相談：月～金 午前8時30分～午後5時（本所・各支所）
- 法律相談：毎週火 午後1時～4時（石川支所）
- カウンセリング：水・金 午前10時～午後4時（本所）
- 聴覚・補聴相談：午後1時～4時

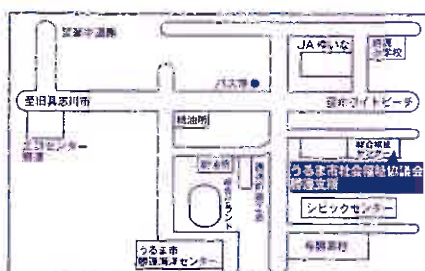
第3木（本所）・第1木（石川保健相談センター）



本 所 〒904-2214  
うるま市字安慶名488番地  
TEL:973-5459 FAX:974-5306



石川支所 〒904-1192  
うるま市石川石崎一丁目1番  
TEL:964-2494 FAX:964-4747



勝連支所 〒904-2312  
うるま市勝連平安名3034番地  
TEL:978-5914 FAX:978-1509



与那城支所 〒904-2304  
うるま市与那城屋慶名1098  
TEL:978-0011 FAX:978-8133

# 生きがい活動支援通所事業

## (介護予防事業)

生きがい参加で

閉じこもり防止

生きがいデイサービス(中央型)



平成12年から市からの委託を受け実施してきた笑い福いデイサービスが名称を変えて、新たに平成18年から「閉じこもり予防・支援」を目的に事業がスタートしました。介護状態になる要因である閉じこもりを無くし、生きがい参加をきっかけに積極的に社会参加へとつながるよう事業を展開していきます。活動は外出できる体力の維持増進を図る健康づくり、行動範囲の拡大を図るための趣味活動や社会見学等の内容で実施しています。又、地域活動等や仲間づくりも支援していきます。

### ミニデイサービスとは

気の合う仲間と気軽に集い

地域社会との関わりを保ち

生きがいを感じるような時間を過ごす

社会的孤立感の解消 生きがいづくりを目的とした活動

ミニデイサービスに  
参加してみませんか

### ミニデイサービスの意義

高齢になっても元気で暮らしていくためには

食事管理 人とのふれあい

適切な運動 地域との関わり

ミニデイ  
の役割は  
重要

### 地域公民館ミニデイサービス (地域型)

実施日…毎週火・木曜日(送迎有り)  
実施時間…午前9時～午後4時まで  
利用料…1回当たり500円  
(利用料200円・昼食代300円)  
対象者  
①市内在住の65歳以上の特定高齢者で家に閉じこもりがちな方、日常生活圏域での交流がほとんど無い方、介護認定が非該当な方。  
②その他、閉じこもりの傾向にあり予防支援が必要な方  
実施場所…うるま市健康福祉センター1内 2F デイサービス室  
問合せ先…うるま市社会福祉協議会  
Tel 973-5459

### ミニデイサービスの めざすもの

生活の活性化による介護予防の推進

- ①楽しさ・生きがいづくり・社会参加
- ②閉じこもり防止
- ③生活のメリハリ
- ④適度な精神的刺激
- ⑤無理なく体を動かすことができる
- ⑥健康や栄養について意識する習慣がつく

参加者個人  
への効果

### 福祉機器リサイクル事業

＝在宅介護及び療養の支援をします＝

利用対象：市内在住で公的サービスの非該当な方及び申請手続中の方等

貸出機器：車イス、介護用ベッド(手動、電動)、シャワーチェア、ポータブルトイレ、四点歩行器等、その他

利用料：無料(但し、ベッドマット等一部機器の消毒代負担有り)

お申込みは最寄の窓口まで相談ください。

本 所：973-5459 石川支所：964-2494  
与那城支所：978-0011 勝連支所：978-5914

### 要約筆記奉仕員派遣事業

～聴覚きこえでお困りの方へ要約筆記者を派遣します。～

目的：市内在住の聴覚障害者の方々等へ社会参加と自立の促進支援

利用対象：耳の不自由な方、耳の不自由な方と話したい方。

派遣場所：病院受診や市役所等への手続き、学校行事等及び当事者団体の各種事業への参加

利用料：無 料

問合せ先：TEL 973-5459 FAX 974-5306



平成22年度 うるま市社会福祉協議会・決算報告

資金収支計算書

単位:円

勘定科目		決算額
經常活動による収支	収入	
	会費収入	9,922,435
	寄附金収入	5,718,310
	經常経費補助金収入	120,884,000
	助成金収入	369,000
	受託金収入	97,834,191
	事業収入	411,481
	貸付事業等収入	343,400
	共同募金配分金収入	16,970,416
	介護保険収入	78,270,165
	自立支援費等収入	909,500
	雑収入	4,890,612
	受取利息配当金収入	339,874
	経理区分間繰入金収入	3,969,690
	經常収入計(1)	340,833,074
	支出	
	人件費支出	240,137,822
事務費支出	15,671,920	
事業費支出	47,554,994	
貸付事業等支出	249,400	
助成金支出	15,462,800	
負担金支出	697,640	
経理区分間繰入金支出	3,969,690	
經常支出計(2)	323,744,266	
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	17,088,808	
施設整備等補助金収入	10,000,000	
施設整備等収入計(4)	10,000,000	
固定資産取得支出及び繰入支出	14,104,290	
施設整備等支出計(5)	14,104,290	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 4,104,290	
財務活動による収入	0	
財務収入計(7)	0	
その他の支出	7,862,169	
財務支出計(8)	7,862,169	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 7,862,169	
予備費(10)		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	5,122,358	
前期末支払資金残高(12)	34,479,903	
当期末支払資金残高(11)+(12)	39,602,261	

事業活動収支計算書

単位:円

勘定科目		決算額
事業活動収支の部	収入	
	会費収入	9,922,435
	寄附金収入	5,718,310
	經常経費補助金収入	120,884,000
	助成金収入	369,000
	受託金収入	97,834,191
	事業収入	411,481
	共同募金配分金収入	16,970,416
	介護保険収入	78,270,165
	自立支援費等収入	909,500
	雑収入	4,890,612
	引当金戻入	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	11,419,578
	事業活動収入計(1)	347,599,688
	支出	
	人件費支出	240,137,822
	事務費支出	14,221,360
事業費支出	47,554,994	
助成金支出	15,462,800	
負担金支出	697,640	
基金組入額	0	
減価償却費	4,594,886	
徴収不能額	159,000	
引当金繰入	9,312,720	
事業活動支出計(2)	332,141,222	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	15,458,466	
収入		
受取利息配当金収入	339,874	
経理区分間繰入金収入	3,969,690	
事業活動外収入計(4)	4,309,564	
支出		
経理区分間繰入金支出	3,969,690	
事業活動外支出計(5)	3,969,690	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	339,874	
經常収支差額(7)=(3)+(6)	15,798,340	
収入		
施設整備等補助金収入	10,000,000	
特別収入計(8)	10,000,000	
支出		
固定資産売却損及び処分損	39,306,696	
特別支出計(9)	39,306,696	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	△ 29,306,696	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	△ 13,508,356	
前期繰越活動収支差額(12)	54,273,555	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	40,765,199	
基本金取崩額(14)	0	
基本金組入額(15)	0	
その他の積立金取崩額(16)	0	
その他の積立金積立額(17)	0	
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	40,765,199	



市民の皆様のご支援、ご協力のお陰により、平成22年度各事業を無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

貸借対照表

単位:円

資産の部		当年度末	負債の部		当年度末
流動資産		59,529,341	流動負債		29,927,090
現金		250,000	未払金		29,912,080
預貯金		34,412,232	仮受金		15,000
未収金		34,852,109	固定負債		121,781,690
仮払金		15,000	退職給与引当金		121,781,690
固定資産		297,804,638			
基本財産		71,587,571			
基本財産特定預金		3,100,000			
建物		58,232,312			
建物附属設備		1,160,459	基本金		43,337,300
土地		9,094,800	基本金		43,337,300
その他の固定資産		226,217,067	国庫補助金等特別積立金		37,593,075
建物		557,464	その他の積立金		93,928,136
車両運搬具		4,916,505	人件費積立金		24,026,021
器具及び備品		827,063	修繕積立金		18,370,968
退職共済・共済財団退職金預け金		121,781,690	備品等購入積立金		20,536,392
人件費積立預金		24,026,021	福祉基金積立金		30,995,754
備品等購入積立預金		20,536,392	次期繰越活動収支差額		40,765,199
修繕積立預金		18,370,968			
福祉基金積立預金		30,995,754			
貸付事業貸付金		4,205,180			
資産の部合計		367,333,979	負債の部合計		215,625,209
			負債及び純資産の部合計		367,333,979

脚注

1. 減価償却費の累計額 185,502,961円



故人のご冥福をお祈り申し上げます

【香典返し】平成22年4月1日～平成23年3月31日現在 (単位:円)

【一般寄付、その他】

御芳名	区名	金額	備考	氏名・団体名	区名	金額	備考
照屋 寛一	豊原	100,000	故 照屋 ツル様	宮城英男沖縄弁護士会長就任祝賀会実行委員会		50,000	社会福祉事業へ
幸喜 敬子	西原	100,000	故 幸喜 令雄様	スーパーポウル・ジーエックス	沖縄市池原	20,000	社会福祉事業へ
知念 嘉菜	みどり町	100,000	故 知念 スミ子様	赤血 初子	豊原武	30,000	社会福祉事業へ
阿古田 勇	赤野	100,000	故 阿古田 榮純様	石川うないの会	石川	100,000	周の百サテライト芸能公演収益金
崎濱 吉子	石川	50,000	故 崎濱 秀仁様	うたごえ講座受講生一同	与那城屋敷名	7,199	社会福祉事業へ
吉本 昌和	平敷屋	30,000	故 吉本 ウツ様	朝光貴	宜野湾市伊佐	10,000	社会福祉事業へ
照屋 林宏	豊原	100,000	故 照屋 ハル様	神タバタ	石川赤崎	500,000	社会福祉事業へ
比嘉 益助	勝連平安名	50,000	故 比嘉 ウシ様	新キョウリツ	石川東恩納	50,000	社会福祉事業へ
伊礼 正一	与那城	30,000	故 伊礼 キヨ様	具志川なつ和友の会		689,215	チャリティー収益金
照屋 寛武	前原	50,000	故 照屋 好子様	ルネッサンスリゾートオキナワ			
田原 茂雄	与那城屋敷名	50,000	故 田原 テヨ様	ココガーデンリゾートオキナワ	石川伊波	36,000	社会福祉事業へ
森根 テヨ	与那城屋敷名	50,000	故 宮城 ヨシ様	総支配人 伊良波清			
富嶺 ヨシ	豊原	100,000	故 富嶺 由紀様	「比嘉マレーザ英由貴沖縄公園」実行委員会		200,000	比嘉マレーザ英由貴沖縄公園
和守慶 スミ子	高江州	50,000	故 和守慶 朝幸様	(宗)石水山 淨願寺	石川	20,000	社会福祉事業へ
兼城 賢愛	豊原	100,000	故 兼城 静子様	新昭和事務機社	石川東恩納	100,000	社会福祉事業へ
目取真 健昌	みどり町	50,000	故 目取真 三郎様	うるま市社交ダンス愛好会 会長 佐久川長徳		50,000	社会福祉事業へ
江田 智三郎	与那城伊計	30,000	故 江田 ハル様	ルネッサンスリゾートオキナワ			
幸地 和枝	豊原武	100,000	故 幸地 長弘様	ココガーデンリゾートオキナワ	石川伊波	56,070	社会福祉事業へ
比嘉 滋祐	与那城	100,000	故 比嘉 ノブ様	総支配人 伊良波 清			
頭取 弘美	豊仲	100,000	故 頭取 繁様	ちよこ歌謡教室	みどり町	300,000	社会福祉事業へ
阿古田 環雄	安野比	100,000	故 阿古田 フミ様	陸上自衛隊 沖縄分屯地 曹友会	八重瀬町宇宮	20,000	社会福祉事業へ
根保 清香	与那城上原	50,000	故 根保 香子様	うるま市社交飲食業組合	みどり町	50,000	社会福祉事業へ
照屋 寛昌	豊原	100,000	故 照屋 寛信様	沖縄県医薬品小売商組合 具志川支前		29,361	社会福祉事業へ
金城 賢夫	石川	100,000	故 金城 造子様	JAおきなわ具志川支店 支店まつり実行委員会		45,300	チャリティーオークションの収益
久高 輝晴	豊原武	30,000	故 久高 将光様	JAおきなわ具志川支店 賣社年部	みどり町	10,000	支店まつり収益の一部寄付
兼壁 初子	勝連平敷屋	100,000	故 兼壁 浩一様	石川地区社交飲食業組合	石川白浜	25,000	社会福祉事業へ
上原 トヨ	勝連平安名	50,000	故 上原 徳一様	JAおきなわ具志川支店 賣社年部	みどり町	10,000	支店まつり収益の一部寄付
宮城 好一	赤道	30,000	故 宮城 好光様				
前堂 千代子	宮里	30,000	故 前堂 長徳様				
大城 朝信	赤道	50,000	故 大城 富美子様				
新城 清仁	半堅	200,000	故 新城 ナハ様				
蔵本 キク	勝連平安名	100,000	故 蔵本 深繁様				
蔵根 栄	勝連南風原	100,000	故 蔵根 良子様				
長浜 好子	みどり町	50,000	故 長浜 美智子様				
高屋 ヨシ	勝連平安名	50,000	故 高屋 清正様				
具志堅 徳行	田場	100,000	故 具志堅 カメ様				
宮里 里子	江州	200,000	故 宮里 善香様				
上原 正則	みどり町	50,000	故 上原 敏子様				

【指定寄付】

氏名・団体名	地名	金額	備考
宮城 好一	赤道	30,000	あいまい事業へ

※ご承諾いただいた方のご芳名のみを掲載しております。

ご寄付いただきました浄財は、うるま市内における福祉事業に活用させていただきます。～感謝申し上げます～

【香典返し】平成23年4月1日～平成23年12月31日現在 (単位:円)

【一般寄付、その他】

御芳名	区名	金額	備考	氏名・団体名	区名	金額	備考
伊波 ツヤ子	石川	100,000	故 伊波 善行様	奥久 美理	与那城屋敷名	959	社会福祉事業へ
仲元 盛郎	勝連内閣	50,000	故 仲元 トミ様	神ふじ産産	那覇市西新川	250,000	社会福祉事業へ
安原名 栄三	天願	100,000	故 安原名 文子様	サンコー電気ゴルフコンペ結成15周年チャリティーゴルフコンペ実行委員会 実行委員長 幸地 良香	天願	100,000	社会福祉事業へ
徳森 ヤエ	与那城屋敷名	50,000	故 徳森 良光様	伊波 正一朗	石川	100,000	社会福祉事業へ
金城 悦子	宮里	60,000	故 金城 孝様	金城 澄子	平良川	5,000	社会福祉事業へ
上地 末子	西原	10,000	故 上地 安輝様	石川うないの会	石川	100,000	社会福祉事業へ
伊波 光子	石川	50,000	故 伊波 恒仁様	志堅原 盛光	西原	15,653	社会福祉事業へ
蔵小理 美子	勝連平安名	100,000	故 蔵小理 美麻様	排沼キキ文明堂	清瀬市城間	10,000	社会福祉事業へ
安原名 博人	田場	50,000	故 安原名 芳子様	松室 ハツ	勝連内閣	100,000	ハツ様の果身祝い記念
徳山 茂美	勝連平安名	100,000	故 徳山 百美様	昌納 ハル	与那城西原	100,000	ハル様の果身祝い記念
照屋 恵美	西原	50,000	故 照屋 美佐子様	カラオケ&酒飲み二人 宮城 研美	宮里	582,343	開店5周年記念
照屋 静江	平良川	100,000	故 照屋 達治様	(宗)与那寺	勝連平安名	25,000	社会福祉事業へ
兼壁 尚雄	具志川	50,000	故 兼壁 文様	あけな中学校17期同窓生一同		70,000	社会福祉事業へ
知念 信正	豊仲	100,000	故 知念 達和様	新キョウリツ	石川東恩納	50,000	社会福祉事業へ
池味 ツル	勝連平敷屋	20,000	故 池味 清信様	うるま歌謡友の会 会長 知念 恒男		509,000	歌謡チャリティーショーの収益金
照屋 守徳	具志川	100,000	故 照屋 龍典様	ルネッサンスリゾートオキナワ			
新屋 絹一	江州	50,000	故 新屋 ノブ様	ココガーデンリゾートオキナワ	石川伊波	37,000	社会福祉事業へ
故 仲田ナハ遺族一同	宜野湾村半原町	100,000	故 仲田 ナハ様	総支配人 伊良波 清			
平良 澄子	与那城伊計	30,000	故 平良 正三様	㈱ニ基設計	沖縄市池原	200,000	社会福祉事業へ
徳野 カツ子	勝連平敷屋	30,000	故 徳野 盛昌様	照屋 林宏	豊原	100,000	社会福祉事業へ
徳山 幸一	勝連平敷屋	100,000	故 徳山 幸栄様	(宗)石水山 淨願寺	石川	20,000	社会福祉事業へ
松田 キク	石川	100,000	故 松田 久盛様	神タバタ	石川赤崎	500,000	社会福祉事業へ
兼壁 静子	みどり町	100,000	故 兼壁 重人様	ちよこ歌謡教室	みどり町	300,000	社会福祉事業へ
兼田 直彦	具志川	50,000	故 兼田 千代様				
新屋 光子	与那城平安名	30,000	故 新屋 達明様				
大城 道子	大田	100,000	故 大城 秀雄様				
津嘉山 哲一	与那城西原	30,000	故 津嘉山 アキ様				
田本 正雄	勝連平安名	50,000	故 田本 カマ様				
座間味 ハツ	田場	100,000	故 座間味 宗逸様				
平良 良治	赤道	100,000	故 平良 良辰様				
友寄 清子	石川東恩納	100,000	故 友寄 昌昌様				
平良 秀子	平良川	100,000	故 平良 徳栄様				
與那郡 信子	石川端	30,000	故 與那郡 和彦様				

【指定寄付】

氏名・団体名	地名	金額	備考
兼真和電工	豊原	150,000	法外援護事業へ
米国婦人福祉協会	沖縄市美里	2,530,000	福祉車購入
石川青年連合会 会長 伊波 常人		108,480	うるま市へ高齢者の支援活動
具志川なつ和友の会		717,280	車購入積立へ
昭和32年生有志の会		52,000	被災者支援として
石川中53期860会(エスロク)	石川山城	142,041	被災者支援として